

# 夏の想い出

今年の夏の、なんと短かったことか。  
 セミだつて、ミンミンゼミがアブラゼミより早く鳴きはじめると、すぐにツクツクゴウシが主役となりました。  
 昆虫たちにとつては、あつという夏の夏だつたのではないうぢやうか。

人々にとつて、梅雨入りしてから、いつあけたか不明のようは天候が続く。  
 八月になつても、雨の日が多くて、あの夏の入道雲はどこに行つてしまつたのか。  
 剣山の人の花、ギレンゲソウ、ウツシも、ちょうど見頃の七月末から八月十日頃には、雨の日が多かつた。  
 それも、ドライ降りだつたり嵐が強かつたりと、ご機嫌なはめは日々ごころ。  
 ばあば連のいやが芽揃りも七月末にようやく揃り終わりホッとしました。が次のソバまきが待つてたりして、雨に悩まされました。



**TAZU**  
 大枝 武家屋敷 (茅葺屋敷) 10月3日  
 油り希望者は(88-5001)高橋まじ

第十九回目とびる「やぶ」  
 大井さんのヒブラネニが、ベースが、ピアノが、祖谷の秋の夜を楽しませようねえ。  
 そくて、ワインプラス、祖谷の食材を使ったマクロヒオネティック料理で、楽しく二倍とびります。  
 ばあば連が育つて、アエ、アエ、アエと違つた祖谷の秋を、集くみませんか。



八月の掣こけは、なんといいことさぼつて探さうというり遊びのイベント。みんなのことはいい、昔懐かしいり遊びなんぞの、城、や祖谷川にかかると、今井橋かこの水辺のブランコ。所が、雨が多くと、祖谷川の水量が増つていて、中止せざるをえませんでした。  
 希望者があつたもので、三日前に遊びはしたけれど、暑かつたのは、政治の世界。三十日投票の衆議院選挙。長かつた自民党中心の政界。七不思議の一つごころは、人々の怒りが強かつたよつと、ようやく主権者である国民の「声」が政治を動かすカになつた熱いスタートの第一歩の夏となつたよつとです。  
 期待と不安、どちらが強いのでしようか。  
 ~中津山~  
 どちらにしても、主権者が私達の側にあつて、事をとるべしとご期待し、いつごころ注視し、熱い目を養うことが大切なごころは、ないでしようか。  
 選挙期間中だけの「熱さ」では、世の中が良くなるよつといくは、あがりません。長く政治家とごころは、きいてる人たちが、今の状況を作り出し、地域を切り捨てたのには、「地域再生」を商々と叫ぶ、その中味が問題なのに、また政治家とごころは、